

議会審議をピックアップ！

こんなことが決まりました！

報告

■平成22年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告書

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、監査委員が審査し意見を付けて報告するもの（P3下段参照）。

■第一小西校舎耐震改修工事請負契約の変更

当初目的としていた耐震改修工事に加え、仮設ゲートの追加設置など、安全面をより重視した改修等を行うため。

条例

■熊野町暴力団排除条例の制定

広島県暴力団排除条例が本年4月から施行され、これに伴い住民生活により近い町においても、県条例と相まった実効性を持たせるもの。

■特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（一部改正）

体育指導委員からスポーツ推進委員への名称の変更。また、有害鳥獣の駆除を担う「鳥獣被害対策実施隊」の隊員の報酬を条例の別表に加えるもの。

■熊野町消防団の設置等に関する条例及び熊野町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例（一部改正）

消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴い、引用条文の整理を行うもの。

予算

■災害弔慰金の支給等に関する条例（一部改正）

法改正に合わせ、本町の条例においても、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、災害当時に死亡した者と同居又は生計を同じくしていた兄弟姉妹を加えるもの。

■平成23年度一般会計補正予算

広島駅ビルでの熊野筆情報発信拠点整備事業の延長（県補助金）や、住宅用太陽光発電システム等普及促進事業補助金の追加（県補助金と町費）など、2億5千277万5千円を増額。

■平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算
2千771万5千円増額。

■平成23年度公共下水道事業特別会計補正予算
8千111万7千円減額。

■平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算
2千401万6千円増額。

■平成23年度介護保険特別会計補正予算
3千772万1千円増額。

■平成23年度上水道事業会計補正予算

収益的収入予定額
525万6千円増額。
収益的支出予定額
27万9千円増額。
資本的収入予定額
351万円増額。
資本的支出予定額
270万円増額。

決算

■平成22年度決算認定

平成22年度各会計決算認定案を提出。決算特別委員会を設置して審査を行い、本会議で原案どおり認定した（P2参照）。

同意

■熊野町教育委員会委員の任命
土本田 優氏

その他

■住居表示実施区域及び当該区域における住居表示の方法を決定
住居表示審議会の意見に基づき、実施区域（初神・新宮地区）を定め、方法は、道路、河川、水路などを町界とする街区方式とする。

一般質問

ズバリ、町政を問う！

9人の議員が一般質問を行い、町の施策等について町執行部と議論を交わした。

総務部門



民法議員

Q 国民栄誉賞受賞記念品の熊野化粧筆の宣伝効果と今後の施策

A 熊野筆セレクトショップは事業継続を検討する（木谷副町長）

熊野の化粧筆が国民栄誉賞の副賞記念品に選ばれたが、継続的な熊野筆のPR、観光面における施策について伺う。

広島駅ビルの熊野筆セレクトショップや筆の里工房で好調な売り上げが続いており、今後も大きな期待が寄せられる。受賞後は直ちに、ポスター、横断幕、懸垂幕などの掲示で熊野筆のPRに努めた。また、広島駅ビルの熊野筆セレクトショップは、採算性が見込めるため、今年度末の県補助終了後も事業継続を検討する。観光面についても、県の推進する海の道構想や周辺市町と連携した観光圏の広域化と熊野筆を活用した産業観光を推進していきたい。



荒瀧議員

Q 熊野町総合計画について

（町長の決意、熊野筆の生産量、出来庭～呉地地区の計画）

A 魅力的なまちづくりを目指す（三村町長）
筆組合の調査からである（石井地域振興課長）
都市活動交流ゾーンの位置付け（石井都市整備課長）

町長の決意と行動力を確認したい。また、熊野筆生産量80%の根拠は。さらに、出来庭から呉地地区の地区計画についてはどうか。

ひと・まちに新たな成長を生み出す熊野町を目指し、満足度の高い魅力的なまちづくりに向け、情熱と行動力を持って邁進していく所存である。熊野筆の生産量については、熊野筆事業協同組合の調査に基づく資料からである。出来庭から呉地地区については、第5次総合計画で都市活動交流ゾーンと位置づけられており、県道の整備にあわせて快適な居住の場としてのような施設が可能か、住民の意見を聞きながら検討したい。